

木更津市子ども・子育て会議委員委嘱状交付式及び

令和6年度 第1回木更津市子ども・子育て会議

議事録

日時：令和6年7月8日（月）午前10時00分～午前10時50分

場所：木更津市役所朝日庁舎 会議室A2

次第

木更津市子ども・子育て会議委員委嘱状交付式

- 1 委嘱状交付
- 2 健康こども部長挨拶

令和6年度 第1回 木更津市子ども・子育て会議

- 1 開会
- 2 議題
 - (1) 第2期木更津市子ども・子育て支援事業計画の進捗及び第3期計画の方針について
 - (2) みつわ幼稚園の新制度幼稚園への移行について
- 3 その他
- 4 閉会

【議事内容】

木更津市子ども・子育て会議委員委嘱状交付式

1. 委嘱状交付

事務局

- 令和6年度の人事異動等により、会議委員の変更が生じていますことから、只今より新規委員の委嘱状交付式を執り行います。

委嘱状交付者（2名）

2. 健康こども部長挨拶

小原部長挨拶

- 新たに委員となられた方におかれましては、ご多忙のところ委員を快くお引き受けいただき、お礼申し上げます。

今年度につきましては、本日の議題にもあげさせていただいておりますが、第2期子ども・子育て支援事業計画が最終年度を迎えますことから、第2期計画の取りまとめ、および、第3期計画の策定を予定しております。

当該計画をはじめとしまして、本市の子ども達のより良い環境を作るために、子ども・子育て会議委員の皆様それぞれの見地から、子育てを取り巻く現状や課題について、引き続き忌憚のないご意見・ご提言をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

令和6年度 第1回 木更津市子ども・子育て会議

1. 開会

事務局

- 本審議会は『木更津市審議会等の会議の公開に関する条例』における『審議会等』にあたることから、同条例第3条の規定により、原則公開となります。また、会議録については、同条例第9条の規定により、個人情報等の不開示情報に留意して、公表することといたします。なお、会議録の調整方法については、要点記録とし、発言に係る委員名は記載する取り扱いといたします。

2. 議題

議題（1）第2期 木更津市子ども・子育て支援事業計画の進捗及び第3期計画の方針について

柴田会長

- 議題1について、事務局から説明願います。

事務局

○【資料1：第2期 木更津市子ども・子育て支援事業計画進捗管理シート】

それでは私からは、議題1 第2期 木更津市子ども・子育て支援事業計画の進捗及び第3期計画の方針について説明させていただきます。

まずお手もとにあります、資料1 第2期木更津市子ども・子育て支援事業計画進捗管理シートをご覧ください。計画最終年度のため、文字が非常に細かくなっており申し訳ございませんが、ご了承ください。

第2期木更津市子ども・子育て支援事業計画につきましては、基本目標1 充実した幼児期の教育・保育の提供から、基本目標7 援助を必要とする子ども・家庭への支援の充実までの施策項目数、合計131事業となっておりますが、そのすべてに触れることは時間的に困難なため、一部を取り上げて説明させていただきます。

資料1 進捗シート1ページ目をご覧ください。

基本目標1 充実した幼児期の教育・保育の提供、(2) 保育環境・幼児教育環境の充実、⑦幼稚園・保育園・認定こども園と小学校の連携につきましては、市内の保育施設等と小学校の連携を図り、こどもの生活と発達を支援していく事業です。保護者からの相談を受け、教育委員会や保育施設と連携し、相談や支援を行ったとともに、入学後のフォローアップについても継続して取り組んでいくものでございます。令和6年度につきましても、必要に応じてより早い時期からの相談を行う等、丁寧に支援をしてまいります。

続きまして、基本目標2 地域子ども・子育て支援事業の推進、(1) 通所による事業、①時間外保育事業（延長保育事業）、②幼稚園・認定こども園での預かり保育、③一時預かり事業等ですが、通園しているこどもの延長保育、一時預かりや、通園していないこどもにおいて、保護者の入院等による緊急時の預かりを行う事業でございます。特に共働き家庭の増加により、預かり事業の需要は増えており、今後拡充を検討してまいります。

続きまして、4ページ目をご覧ください。

基本目標3 子どもの健やかな成長への支援の推進、(2) 教育環境の充実、②学校適応指導教室（あさひ学級）につきましては、不登校児童・生徒に寄り添い、社会的自立に向けた支援を行うものでございます。令和元年9月時点の在籍数は23名でしたが、令和5年度末時点での在籍数が43名と大きく増えており、相談員の増員実施、また、オンラインで繋がることのできる「オンラインあさひ学級」にも取り組んでまいります。

続きまして、基本目標4 親と子の健康の確保及び増進、(1) 母子の健康づくりの

推進につきましては②妊婦個別指導事業、⑧新生児、産婦訪問指導事業、乳児家庭全戸訪問事業等、産前産後の健診や、悩み事等を聞き取り、情報提供や支援を行っていくものでございます。コロナの影響により、健診の受診率が一時低下しており、まだ従前の水準まで戻っていない健診事業もあることから、令和5年度から導入したきさチルアプリ等も活用し、引き続き受診の勧奨を行っていきたいと考えております。

続きまして、7ページ目をご覧ください。

基本目標5 子育てを支援する生活環境の整備、(1)子育て家庭へのサポートの充実、④子育てヘルパー派遣事業(産前産後・家事育児サポート事業)につきましては、令和4年8月よりサービスを開始した事業であり、保護者の方が出産前後等で家事・育児ができない時等に市と契約を結んだ事業者からサポーターを派遣し援助を行うものです。利用件数の拡大を図るために、制度周知や利便性の向上に力を入れ、必要な利用者に支援が届くよう引き続き実施してまいります。

続きまして、11ページ目をご覧ください。

基本目標7 援助を必要とする子ども・家庭への支援の充実、(4)ひとり親家庭への支援、②児童扶養手当につきましては、父母の離婚等により、父又は母と生計を同じくしていないひとり親家庭等の生活の安定のため、こどもが18歳となる年度末まで、あるいは、障がいを持つこどもの場合は20歳未満まで、手当を支給するものでございます。児童扶養手当につきましては、国の支給要件等を基本として支給しておりますが、令和6年11月分より、第3子以降の加算額が第2子と同額になり、多子世帯の手当支給額が増額されるとともに、手当を受給できる所得の制限限度額が緩和されることから、受給できる世帯が増加する見込みとなっております。新たに対象世帯となる家庭へ確実に案内する等、確実に支援が届くよう継続していくものでございます。

以上が、第2期 子ども・子育て支援事業計画に係る進捗状況の説明となります。また、冒頭にご説明しました通り、今年度は第2期計画の最終年度となり、振り返りに加えて令和7年度からの第3期計画策定を予定しております。

こちらは、第2期の結果を踏まえるとともに、令和5年度第3回会議にてご説明いたしました、市民ニーズに係る調査報告書等を参考とし、それらを反映した形で第3期計画を策定するよう検討していくものでございます。

今後の予定といたしましては、第2回 子ども・子育て会議開催時に素案として委員皆様にお示しできるよう進めるとともに、12月から令和7年1月頃を目途にパブリックコメントを実施、いただいたご意見等を踏まえ最終版としたものを年度末に公表することとしております。改めて、素案作成後に委員皆様のご意見等を頂戴できれ

ばと考えておりますことから、引き続きどうぞよろしくお願いいいたします。

柴田会長

- ありがとうございます。ご意見ご質問ございますか。

白石委員

- ご説明の中にはありませんでしたが、資料1 7ページに「(仮称) マタニティータクシー」の事業がございます。こちらの事業はニーズがあるものと認識しておりますが、検討はいかがでしょうか。

事務局

- 特に、妊婦の方向けということで、医療的な補助についてタクシー会社側の協力・ご理解を得ることが難しいと担当課より聞いております。

森田委員

- 資料1 2ページの病児・病後児保育について、急な場合にお預かりできる事業としてニーズはあると思いますが、現在木更津市内でお預かりできる施設はないと聞いております。こちらはいかがでしょうか。

事務局

- ご認識のとおりです。病児・病後児保育について課題があるものと認識しておりますが、現在、市内において実施体制は整っておりません。こちらについては、事業者と相談しつつ進めてまいりたいと考えております。

加藤委員

- 資料1 1ページの幼稚園・認定こども園に係る部分ですが、新制度幼稚園への移行が平成27年度から始まっていると思われませんが、進捗はいかがでしょうか。木更津市においても、新制度幼稚園への移行希望があり受け入れている現状があると聞いております。また、より良いこどもの環境づくりのために検討している園が増えているとの話も聞きます。第3次計画においても、引き続き園が相談できる窓口を継続いただきたいものです。

事務局

- 引き続き、こども保育課において窓口を継続する予定です。

重城委員

- 先ほどのマタニティータクシーの件ですが、ご家族や親せきのお迎えが出来ないひとり親のご家庭の課題が大きいのではと思われれます。他方で、病気等の緊急事態であれば迷わず救急車を呼んでいただけますので、マタニティータクシーとして事業をタクシー会社にご協力いただくのは若干ハードルが高いようにも感じます。特に少子化が進む中、需要と供給が見合うのかは検討の余地があるのではないのでしょうか。

事務局

- ご意見有難うございます。おっしゃる通りタクシー会社へのご協力依頼がなかなか難しいものであり、担当課からは廃止の方向も検討していると聞いております。

白石委員

- 木更津市の状況を考えますと、現在若い世帯の方々の大半が核家族世帯と思われ、そうした特徴もご考慮いただきたいと思っております。例えばファミリーサポート事業や、らづファミを拡充させる等、今ある事業の拡大をもってフォローいただく等も考えられるかと思われまます。

堀口委員

- ご参考になればですが、現在、高齢者向けの送迎タクシー事業は多くあるかと思っております。妊婦さんのみに特化した事業が難しければ、そうした他事業とあわせて検討いただくのも良いのではないかと思いました。

春口委員

- 先ほど重城委員が仰っていただいたように、陣痛等であれば救急車を呼べるのですが、個人的な経験といたしまして、仕事からの帰り等でタクシーを使おうとした際、断られたこともありました。陣痛前でも、お腹が大きく歩いて移動するのが大変な中、タクシーの利用も憚られ、主人が休みの日以外は移動しづらかったです。緊急事態はもちろんですが、妊婦の方が気軽に移動できる環境を作っていただけると良いと感じます。

重城委員

- 先程も申し上げたとおり、産婦人科については年々少子化の影響を受けており、なかなかフォローしきれない面があるようにも思います。違う形でのアプローチが必要かもしれません。

春口委員

- 妊婦さんへのサポートを充実させ、産みやすい環境を整えることが将来的な少子化対策に繋がると思うのですが、いかがでしょうか。

事務局

- ご意見有難うございます。市内タクシー会社への協力依頼については引き続き検討してまいります。

宮崎委員

- 小規模保育所・障がい児のための学童保育所に関するデータはありますでしょうか。事業が始まって今年で3年になりますので、現在の保育所の状況を知りたいと思っております。特に、小規模保育所の増加は待機児童対策として大きく貢献され

たと感じていますが、少人数保育のため社会性の発達に疑問もあり、少子化に転じた現在、小規模保育所は一定の役割を終えたのではと個人的には考えております。また、千葉県北部ではすでに廃止されている現状もありますので、実施内容の見直しもかねて、利用者や施設職員へのアンケート等による現場のご意見を伺ってみたいものです。

事務局

- ご意見有難うございます。検討してまいります。

柴田会長

- 他にご意見、ご質問ございますでしょうか。
無いようであれば、議題2に移ります。

議題（2）みつわ幼稚園の新制度幼稚園への移行について

柴田会長

- 議題2について、事務局から説明願います。

事務局

- 【資料2：特定教育・保育施設の利用定員の設定】

私からは、みつわ幼稚園の新制度幼稚園移行について、ご説明いたします。

お手元の資料2 特定教育・保育施設の利用定員の設定をご覧ください。同園は、令和7年4月に新制度幼稚園への移行を予定しております。新制度に移行しますと、「施設型給付」を受ける幼稚園となります。

5. 利用児童数について、令和4年度は198名、令和5年度は187名、令和6年度は180名であり、こちらの傾向を基に、6. 利用定員に記載のとおり、定員を180名とする予定でございます。

なお、施設の整備は行いません。

説明は以上でございます。

柴田会長

- ありがとうございます。ご意見ご質問ございますか。

なければ、その他事務局より連絡はありますか。

（特になし）

では、以上で令和6年度第1回木更津市子ども・子育て会議を終了いたします。

（閉会）